

市指定

すいじんした いせきしめつ どしょうどうたく こがたどうきょう  
 水神下遺跡出土小銅鐸・小型銅鏡・  
 せきせいすいしよくひん つけたり しめつ ど ど き てん  
 石製垂飾品 附 出土土器121点

所在地：下新田1133  
 (市郷土博物館)

管理者：袖ヶ浦市教育委員会



小銅鐸（側面 — 表 — 側面 — 裏）



小型銅鏡（表 — 裏 — 側面）

石製垂飾品（表 — 裏 — 側面）



小銅鐸などが見つかった様子

この小銅鐸等は、袖ヶ浦駅北口の東京湾に面する砂堆列上にある水神下遺跡から発見されました。小銅鐸、小型銅鏡（重圏文鏡<sup>じゅうけんもんきょう</sup>）、石製垂飾品は古墳時代前期中葉の川の跡からまとまって出土しており、全国的に極めて貴重な出土事例です。また、ともに市指定となった土器の中には、東海地方や北陸、近畿地方の影響を受けたものを含み、3世紀以降の列島規模のヒト・モノの動きを示す重要な資料です。これらの土器は小銅鐸、小型銅鏡、石製垂飾品がこの地にもたらされた歴史的背景を示しています。